

基礎生物学

(授業概要)

高校生物の復習を基本に、将来的に関わる動植物についてより深く理解するための下地をつくる。
細胞、組織、臓器といった生体の構成成分を各階層で理解する。

科	生命科学科	教員	三輪 喬太
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期…生体を構成する細胞をはじめとし、組織、遺伝子、主な臓器について理解する。

後期…免疫の仕組み、神経系、感覚器、生物の分類について学ぶ。

授業計画

- 1 回 細胞の構造（1）
- 2 回 細胞の構造（2）
- 3 回 生体を構成する物質
- 4 回 タンパク質、酵素
- 5 回 動物の組織と器官
- 6 回 遺伝子とゲノム
- 7 回 体細胞分裂
- 8 回 遺伝情報の発現
- 9 回 減数分裂
- 10 回 遺伝・メンデルの法則
- 11 回 恒常性、体液、循環器系
- 12 回 動物の循環、循環器系
- 13 回 肝臓の働き、腎臓の働き
- 14 回 腎臓の働き、消化器系の働き
- 15 回 まとめ
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却、答え合わせ
- 18 回 生体防御（1）
- 19 回 生体防御（2）
- 20 回 神経系
- 21 回 感覚器（視覚、聴覚、平衡感覚）
- 22 回 感覚器（味覚、嗅覚、皮膚感覚）
- 23 回 まとめ
- 24 回 内分泌系
- 25 回 糖尿病と血糖値

- | | |
|------|------------------|
| 26 回 | 自律神経（交感神経・副交感神経） |
| 27 回 | 自習 |
| 28 回 | 生物の分類 |
| 29 回 | 生物の系統樹、ドメイン |
| 30 回 | 原核生物界、原生生物界 |
| 31 回 | 植物界 |
| 32 回 | 動物界 |
| 33 回 | まとめ |
| 34 回 | 後期期末試験 |
| 35 回 | 後期期末試験返却、答え合わせ |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
教材と板書

きょうざい 教材
浜島書店『生物図表』

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 しゅっせきりつ 平常点 20%（ じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物解剖・生理学Ⅰ

（授業概要）

社会人基礎力としての動物解剖・生理学の基礎知識を習得。

愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる動物解剖・生理学知識を習得。

動物解剖・生理学についてより高度な知識を習得し、アニマルサイエンスを調査検索できるように法律・規則や専門用語を学ぶ。

科	生命科学科	教員	森 聖
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位数	35

目標

前期

- 1) 社会人基礎力としての動物解剖・生理学の基礎知識を習得する。
- 2) 11 月の第 4 日曜日の愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる動物解剖・生理学を学ぶ。

後期

- 1) 動物解剖・生理学についてより高度な知識を習得し、ヒト及び動物の構造と機能を調査検索できるように法律・規則や専門用語を学ぶ。

授業計画

- 1 回 ガイダンス__シラバスの説明。体の各部位の名称の説明。
- 2 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 1 章 体の基本の仕組み
- 3 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 2 章 消化器
- 4 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 3 章 泌尿器
- 5 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 4 章 運動器
- 6 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 5 章 皮膚と感覚器
- 7 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 1 章 循環器
- 8 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 2 章 呼吸
- 9 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 3 章 内分泌とホルモン
- 10 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 4 章 体内の情報伝達
- 11 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 5 章 血液と造血器
- 12 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 1 章 生殖器の形態と機能
- 13 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 4 章 遺伝学概論
- 14 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 2 章 犬の繁殖生理
- 15 回 前期期末試験。愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 3 章 猫の繁殖生理
- 16 回 前期期末試験 解説。愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 1 章 循環器
- 17 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 2 章 呼吸器
- 18 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 3 章 内分泌とホルモン
- 19 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 4 章 体内の情報伝達
- 20 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 5 章 血液と造血器
- 21 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 2 編 1 章 動物の遺伝

- 22 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 2 編 2 章 動物の繁殖生理
- 23 回 骨格__看護師教科書 1 巻 第 7 章（愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 2022 年、Eduward Press）
- 24 回 筋肉__看護師教科書 1 巻 第 7 章
- 25 回 皮膚__看護師教科書 1 巻 第 8 章
- 26 回 肝臓__看護師教科書 1 巻 第 11 章
- 27 回 脾臓__看護師教科書 1 巻 第 11 章
- 28 回 口腔、胃腸-1__看護師教科書 1 巻 第 11 章
- 29 回 口腔、胃腸-2__看護師教科書 1 巻 第 11 章
- 30 回 腎臓-1__看護師教科書 1 巻 第 12 章
- 31 回 腎臓-2__看護師教科書 1 巻 第 12 章
- 32 回 免疫学-1__看護師教科書 1 巻 第 3 章、3 巻 第 1 章 7
- 33 回 後期期末試験。免疫学-2__看護師教科書 1 巻 第 3 章、3 巻 第 1 章 7
- 34 回 後期期末試験 解説。神経系__看護師教科書 1 巻 第 5 章
- 35 回 まとめ

授業の方法

座学の講義

教材

- 1) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 EduwardPress 1 巻 形態学機能学、参考書、試験問題集。
- 2) 愛玩動物飼養管理士 2 および 1 級の教科書、試験問題集。
- 3) 休み時間の解剖学 加藤征治・著 講談社・発行 2018/7/28。
- 3) NHK BS テレビ放送の放送大学よりの最新情報__例
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=30161>
 010 疾病の成立と回復促進（'21） 1710176p
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=1176>
 042 生命分子と細胞の科学（'19） 1562894p
<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=30291>
 008 人体の構造と機能（'22） 1710206p

評価の方法

期末試験80%、平常点 20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり、神戸学園にて 2023 と 2024 年、パートアルバイト講師。__2023 年に獣医科往診所開設。獣医科動物病院勤務、製薬会社の市販後安全管理（医薬品、自家培養細胞）、アミテザの臨床開発、開発候補物の安全性試験、発がん研究（病理学 博士(医学)、日本毒性病理専門家）など。

ビジネスマナー

(授業概要)

前期においてはインターンシップに備え履歴書・挨拶状・お礼状・封筒の宛名が一人で書けるようになる事。
後期については今後の就職活動を見据えて、名刺交換・電話対応・席次・などの基本的なビジネスマナーが一人で実践できるようになること。

科	生命科学科	教員	荻野 将士
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

履歴書・挨拶状・お礼状・封筒の宛名が一人で書けるようになる

後期

就職活動を見据え、基本的なビジネスマナーが一人で実践できるようになる

授業計画

- 1回 オリエンテーション
- 2回 校舎見学/受付の利用方法/校内でのエレベータの使い方
- 3回 履歴書の書き方①(個人情報の書き方について)
- 4回 履歴書の書き方②(学歴/職歴)
- 5回 履歴書の書き方③(自己紹介書)
- 6回 履歴書の書き方④(自己紹介書)
- 7回 挨拶文の書き方①
- 8回 挨拶文の書き方②
- 9回 お礼状の書き方①
- 10回 封筒の宛名の書き方①
- 11回 期末課題実施①(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 12回 期末課題実施②(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 13回 期末課題実施③(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 14回 期末課題実施④(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 15回 前期期末試験
- 16回 前期期末試験返却/電話応対①
- 17回 電話対応②(実践)
- 18回 電話対応③(実践)
- 19回 電話対応③(実践)
- 20回 席次①
- 21回 席次②(実践)
- 22回 ビジネスメール①
- 23回 ビジネスメール②(署名作成)

- 24 回 名刺交換①
- 25 回 名刺交換②(実践)
- 26 回 入退室の仕方/お辞儀について①
- 27 回 入退室の仕方/お辞儀について②
- 28 回 面接マナー①
- 29 回 面接マナー②
- 30 回 敬語について①
- 31 回 敬語について②
- 32 回 後期期末試験対策
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験返却
- 35 回 総まとめ/復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義/問題演習/実践

きょうざい
教材

資料配布

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ビジネスマナーに関する書籍/参考動画の閲覧

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学Ⅰ

(授業概要)

狂犬病予防法、動物愛護法を中心に家庭で飼育または動物に関わる仕事に就く上で知っておくべき各種動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

法律の仕組み、狂犬病予防法など動物に関わる以上は必須となる制度について理解できるようになる。

後期

動物愛護法を中心にペットビジネスや動物を飼育する際に知っておくべき事柄や制度について理解できるようになる。

授業計画

- 1 回 授業概要紹介、自己紹介など
- 2 回 犬猫飼養頭数、動物に関する社会の現状など
- 3 回 狂犬病予防法 (1) 狂犬病とは その 1
- 4 回 狂犬病予防法 (2) 狂犬病とは その 2
- 5 回 狂犬病予防法 (3) 狂犬病清浄国・地域について
- 6 回 狂犬病予防法 (4) 狂犬病予防法の概要 その 1 法の概要、目的
- 7 回 狂犬病予防法 (5) 狂犬病予防法の概要 その 2 対象動物、輸入禁止動物 (感染症法)
- 8 回 狂犬病予防法 (6) 狂犬病予防法の概要 その 3 畜犬登録、狂犬病予防注射制度
- 9 回 狂犬病予防法 (7) 狂犬病予防法の概要 その 4 罰則など
- 10 回 動物が亡くなった場合 (1) 動物や動物の死体の法的立場
- 11 回 動物が亡くなった場合 (2) 廃棄物処理法と化製場法と動物
- 12 回 前期期末試験
- 13 回 前期期末試験返却
- 14 回 動物が亡くなった場合 (3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その 1
- 15 回 動物が亡くなった場合 (3) 人の墓に動物を入れることはできるのか その 2
- 16 回 動物愛護法 (1) 法律の成立背景その 1
- 17 回 動物愛護法 (2) 法律の成立背景その 2
- 18 回 動物愛護法 (3) 目的
- 19 回 動物愛護法 (4) 基本原則
- 20 回 動物愛護法 (5) 動物の飼い主の責任 その 1
- 21 回 動物愛護法 (6) 動物の飼い主の責任 その 2
- 22 回 動物愛護法 (7) 動物虐待に対する罰則 その 1
- 23 回 動物愛護法 (8) 動物虐待に対する罰則 その 2

- | | | |
|------|--------------------------------|------|
| 24 回 | 動物愛護法（9）動物取扱業の規制 | その 1 |
| 25 回 | 動物愛護法（10）動物取扱業の規制 | その 2 |
| 26 回 | 動物愛護法（11）動物取扱業の規制 | その 3 |
| 27 回 | 後期期末試験 | |
| 28 回 | 後期期末試験返却 | |
| 29 回 | 動物愛護法（12）動物取扱業の規制 | その 4 |
| 30 回 | 動物愛護法（13）第 2 種動物取扱業、実験動物と産業動物、 | |
| 31 回 | 動物愛護法（14）特定動物 | その 1 |
| 32 回 | 動物愛護法（15）特定動物 | その 2 |
| 33 回 | 動物愛護法（16）マイクロチップの装着 | |
| 34 回 | 動物愛護法（17）自治体の役割 | |
| 35 回 | 1 年総復習 | |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 しゅうせきりつ 平常点 20%（ じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

基礎健康管理学Ⅰ

(授業概要)

犬や猫など身近な動物を中心に日常的な健康管理や予防について学ぶ。

科	生命科学科	教員	寺鼻 友美
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

犬や猫の日常的な健康管理と予防について学び、正常時と異常時の違いを理解する。

後期

引き続き健康学と予防について学び、またそれらを基礎とし、代表的な疾患について理解する。

授業計画

- 1回 自己紹介 授業について
- 2回 散歩、運動
- 3回 排尿、排便
- 4回 全身の手入れ①
- 5回 全身の手入れ②
- 6回 全身牡手入れ③
- 7回 希釈の計算
- 8回 熱中症について①
- 9回 熱中症について②
- 10回 犬の登録
- 11回 狂犬病とは①
- 12回 狂犬病とは②
- 13回 混合ワクチン①
- 14回 混合ワクチン②
- 15回 口腔衛生①
- 16回 口腔衛生②
- 17回 試験前復習
- 18回 前期期末試験
- 19回 前期期末試験返却
- 20回 避妊去勢①
- 21回 避妊去勢②
- 22回 フィラリア予防①
- 23回 フィラリア予防②
- 24回 フィラリア予防③
- 25回 外部内部寄生虫①

26 回 外部内部寄生虫②
27 回 外部内部寄生虫③
28 回 外部内部寄生虫④
29 回 外部内部寄生虫⑤
30 回 外部内部寄生虫⑥
31 回 同行避難
32 回 同行避難
33 回 試験前復習
34 回 後期期末試験
35 回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり(動物看護師)

公衆衛生学Ⅰ

(授業概要)

社会人基礎力としての公衆衛生学の基礎知識を習得。

愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる公衆衛生学知識を習得。

公衆衛生学についてより高度な知識を習得し、社会的に健康被害問題のニュースを理解するために調査検索する法律・規則の用語を学ぶ。

科	生命科学科	教員	森 聖
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

- 1) 社会人基礎力としての公衆衛生学の基礎知識を習得する。
- 2) 11 月の第 4 日曜日の愛玩動物飼養管理士 試験に対応できる公衆衛生学を学ぶ。

後期

- 1) 公衆衛生学についてより高度な知識を習得し、社会的に健康被害問題のニュースを理解するために調査検索する法律・規則の用語を学ぶ。

授業計画

- 1 回 ガイダンス__シラバスの説明。体の各部位の名称、紅麹事件、水道水の有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）の汚染のニュースの説明。
 - 2 回 公衆衛生__愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 EduwardPress （以下、看護師教科書）5 巻 1 章より 公衆衛生とは
 - 3 回 EP 看護師教科書 5 巻 2 章より 疫学-1
 - 4 回 EP 看護師教科書 5 巻 2 章より 疫学-2
 - 5 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 6 編 2 章 愛護・適正飼養関連行政法規 3 節 狂犬病予防法
 - 6 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 6 編 3 章 社会福祉行政・環境衛生法規
 - 7 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 7 編 1 章 動物の使用管理と関わり合い 1-2 節
 - 8 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 7 編 1 章 動物の使用管理と関わり合い 3-4 節
 - 9 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 1 節 感染症法
 - 10 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 2 節 家畜伝染病予防法
 - 11 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 3-4 節 検疫に関する法令、と畜場法
 - 12 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 1 章 1-2 節
2 / 3__公衆衛生学 1
 - 13 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 1 章 3-6 節
 - 14 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 1 節
 - 15 回 前期期末試験。
- 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節 人と動物の共通感染症とその対策 -1 ウイルスによる

16 回 前期期末試験 解説。

愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節 人と動物の興津感
染症とその対策 -2 細菌による

17 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節 人と動物の共通
感染症とその対策 -3 真菌による

18 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節 人と動物の共通
感染症とその対策 -4 寄生虫による

19 回 人畜共通感染症 -1__看護師教科書 5 巻 3 章より

20 回 人畜共通感染症 -2__看護師教科書 5 巻 3 章より

21 回 人畜共通感染症 -3__看護師教科書 5 巻 3 章より

22 回 人畜共通感染症 -4__看護師教科書 5 巻 3 章より

23 回 人畜共通感染症 -5__看護師教科書 5 巻 3 章より

24 回 人畜共通感染症 -6__看護師教科書 5 巻 3 章より

25 回 食品衛生 -1__看護師教科書 5 巻 4 章より

26 回 食品衛生 -2__看護師教科書 5 巻 4 章より

27 回 食品衛生 -3__看護師教科書 5 巻 4 章より

28 回 環境衛生 -1__看護師教科書 5 巻 5 章より

29 回 環境衛生 -2__看護師教科書 5 巻 5 章より

30 回 環境衛生 -3__看護師教科書 5 巻 5 章より

31 回 環境衛生 -4__看護師教科書 5 巻 5 章より

32 回 環境衛生 -5__看護師教科書 5 巻 5 章より

33 回 後期期末試験。

34 回 後期期末試験 解説。

35 回 まとめ

授業の方法

座学の講義

教材

1) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 EduwardPress 5 巻 公衆衛生学、参考書、試験問題集、

2) 愛玩動物飼養管理士 2 および 1 級の教科書、試験問題集

3) NHK BS テレビ放送の放送大学よりの最新情報__例

<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/vod?ca=30168>

023 食の安全 (' 2 1) 1519344p (テレビ・字幕) 吉村 悦郎、関崎 勉

<https://v.ouj.ac.jp/view/ouj/#/navi/player?co=31529&ct=V&se=%E6%84%9F%E6%9F%93>

第 03 回 健康状態を脅かす微生物と生体防御。

4) 休み時間の感染症学、齋藤紀先著、講談社発行 2023/10/18。

5) よくわかる公衆衛生学の基本としくみ第 2 版、上池 賢ら、秀和システム発行 2020/06/20。

評価の方法

期末試験80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり、神戸学園にて 2023 と 2024 年、パートアルバイト講師。__2023 年に獣医科往診所開設。獣医科動物病院勤務、製薬会社の市販後安全管理（医薬品、自家培養細胞）、アミテーザの臨床開発、開発候補物の安全性試験、発がん研究（病理学 博士(医学)、日本毒性病理専門家）など。

栄養学Ⅰ

（授業概要）

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理についての知識を身に着ける。

科	生命科学科	教員	伊勢 朱里
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

五大栄養素について理解をする。BCS やエネルギー要求量の計算方法を身に着ける

後期

フードの歴史、種類、選び方、ライフステージ別のフードの違い、アレルギー、食べてはいけないもの、PB と NB の違いを理解し、接客できるようになる。

授業計画

- 1回 栄養学とは/栄養を摂取するとは
- 2回 五大栄養素（たんぱく質）
- 3回 五大栄養素（炭水化物）
- 4回 五大栄養素（脂質）
- 5回 五大栄養素（ビタミン）
- 6回 五大栄養素（ミネラル）
- 7回 ボディコンディションスコア（BCS）
- 8回 エネルギー要求量
- 9回 エネルギー要求量
- 10回 エネルギー要求量
- 11回 フードの歴史
- 12回 自主学習日（課題）
- 13回 自主学習日（課題）
- 14回 自主学習日（課題）
- 15回 前期復習
- 16回 前期期末試験(実施)
- 17回 前期期末試験(返却・解説)
- 18回 4D/フードの種類（ドライ・セミモイスト・ウェット）
- 19回 フードの種類（総合栄養食・栄養補助食・特別療法食）
- 20回 パッケージの見方
- 21回 添加物・酸化防止剤・保存料
- 22回 ライフステージ（哺乳期・離乳期・成長期）

- | | |
|------|--------------------|
| 23 回 | ライフステージ（維持期・高齢期） |
| 24 回 | ライフステージ（妊娠授乳期・治療期） |
| 25 回 | 食物アレルギー |
| 26 回 | 食物アレルギー |
| 27 回 | 犬猫が食べてはいけないもの |
| 28 回 | 犬猫が食べてはいけないもの |
| 29 回 | 自主学習日（課題） |
| 30 回 | 自主学習日（課題） |
| 31 回 | PB と NB の違い |
| 32 回 | 後期復習 |
| 33 回 | 後期期末試験(実施) |
| 34 回 | 後期期末試験(返却・解説) |
| 35 回 | 振り返り |

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
講義

きょうざい 教 材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ しゅぎょうたいど 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
ペットショップでフードや用品を見る

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

資格対策

(授業概要、目的)

サービス接遇検定 3 級/愛玩動物飼養管理士 2 級の認定試験で合格する事。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定⇒6 月上旬に認定試験開催⇒試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/対人技能/実務技能)教材をもとに対策授業を行う。

愛玩動物飼養管理士⇒11 月下旬に認定試験開催⇒スクーリング/マークシート課題の実施と試験範囲の対策授業を行う。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	荻野 将士
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	×
たいしやうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

- ・ サービス接遇検定 3 級取得を目指す。
- ・ 基本的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

後期

- ・ 愛玩動物飼養管理士 2 級取得を目指す。
- ・ スクーリング/マークシートの実施を行い試験範囲の内容を学習する。課題報告問題の解説。

授 業 計 画

- 1 回 オリエンテーション(受験申込書記入/試験概要の説明)
- 2 回 サービススタッフの資質について
- 3 回 専門知識
- 4 回 一般知識
- 5 回 対人技能
- 7 回 実務技能
- 8 回 模擬試験(6/14 認定試験)
- 9 回 オリエンテーション(愛玩動物飼養管理士教科書配布/課題の説明)
- 10 回 スクーリング実施
- 11 回 スクーリング実施
- 12 回 マークシート課題報告問題実施
- 13 回 マークシート課題報告問題実施
- 14 回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却、解説
- 17 回 愛玩動物飼養管理士試験対策①
- 18 回 愛玩動物飼養管理士試験対策②
- 19 回 愛玩動物飼養管理士試験対策③

- 20 回 愛玩動物飼養管理士試験対策④
- 21 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑤
- 22 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑥
- 23 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑦
- 24 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑧
- 25 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑨
- 26 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑩(11/23 認定試験)
- 27 回 SPI 対策①
- 28 回 SPI 対策②
- 29 回 SPI 対策③
- 30 回 SPI 対策④
- 31 回 SPI 対策⑤
- 32 回 SPI 対策⑥
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験返却、解説
- 35 回 総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

対策資料及び教本を用いた授業の実施

きょうざい
教材

サービス接遇検定実問題集(3 級)/愛玩動物飼養管理士 2 級教本 2 冊/スクーリング資料/ペットの飼養管理

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80% / じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

問題集/スクーリング/マークシート/配布プリントの復習

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

コンパニオンドッグ I

(授業概要)

犬に関わる職業において必要な犬種ごとの特徴や対応を学び、犬を理解するとともに、将来の仕事において、お客様への情報提供やサービス、接客にて役立つ知識として学ぶ。また、実習において基礎知識を応用し、実際に犬と関わるうえで犬の扱い方、対応を実践としてつなげる。

科	生命科学科	きょういん 教員	稲岡 愛
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

目標

前期

主要犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

後期

主要以外の人気犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び、外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

授業計画

- 1 回 授業の説明、グループ分け①
- 2 回 グループ分け②
- 3 回 グループ分け③
- 4 回 グループ分け④
- 5 回 グループ分け⑤
- 6 回 人気犬種 2 種（プードルなど）
- 7 回 人気犬種 2 種（ダックスフンドなど）
- 8 回 人気犬種 2 種（柴など）
- 9 回 人気犬種 2 種（M シュナウザーなど）
- 10 回 人気犬種 2 種（マルチーズなど）
- 11 回 人気犬種 2～3 種（フレンチブルドッグなど）
- 12 回 自主学習日（課題）
- 13 回 自主学習日（課題）
- 14 回 自主学習日（課題）
- 15 回 試験対策
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験
- 18 回 人気犬種 2 種（パグなど）
- 19 回 人気犬種 2～3 種（L レトリバーなど）
- 20 回 人気犬種 2～3 種（ブルドッグなど）

- 21 回 人気犬種 2～3 種（シベリアン・ハスキーなど）
 22 回 人気犬種 2～3 種（ドーベルマンなど）
 23 回 ペットを迎え入れることについて
 24 回 人気犬種 2～3 種（G シェパードなど）
 25 回 人気犬種 2～3 種（サモエドなど）
 26 回 犬との生活
 27 回 人気犬種 2～3 種（チャウ・チャウなど）
 28 回 人気犬種 2～3 種（ニューファンドランドなど）
 29 回 人気犬種 2～3 種（Mブル・テリアなど） 30 回 自主学習日（課題）
 31 回 試験対策
 32 回 後期期末試験
 33 回 後期期末試験
 34 回 人気犬種 2～3 種（アイリッシュ・セターなど）
 35 回 就職先で犬種知識を生かすために自主学習日（課題）

授業の方法

講義

教材

まるごとわかる犬種図鑑

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

授業前に事前学習として対象の犬種の様々な画像を見ておく
 日常生活で犬を見たら犬種名を言えるようにする（わからない場合は調べるもしくは飼い主に確認）

実務経験と授業科目の関係

あり

コンパニオンキャット I

(授業概要)

ペットに関わる職業を目指す為に、猫の基本知識を習得する。

科	生命科学科	教員	上田阿由美
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

猫を飼う基本的な事

猫種名を知る 猫と犬の違い 行動学 スタンダード

後期

健康チェック 猫を迎える準備 自宅でのケア

猫の病気 ワクチネーション スタンダード

授業計画

- 1 回 オリエンテーション（上田の自己紹介・授業のルール・評価の出し方・1 年間の授業内容）
アンケート用紙配布（来週提出、期日厳守）
- 2 回 猫名（カラーコピー配布、学生に猫名を入力させる）
アンケート提出
- 3 回 アンケートの中の（外飼いのデメリット・避妊/去勢手術のメリット・ペットロス）
- 4 回 プロの MIX（雑種）と純血種の定義
- 5 回 純血種の LH・SH の飼い方、性格の違い・遺伝の違い
- 6 回 純血種の MALE・FEMALE の飼い方・性格の違い
- 7 回 猫と犬との違い①（習性・体型・感触）多胎性について
- 8 回 猫と犬との違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 9 回 猫と犬との違い③（種類・カラー・腸・歯）
- 10 回 猫と犬との違い④（繁殖機能）
- 11 回 行動学①（舌・爪・尾）
- 12 回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 13 回 行動学③（内蔵・皮膚・体感）
- 14 回 行動学④（猫の動き方のまとめ）
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却（不理解部分の説明）
- 17 回 前期の反省（後期に向かって）（猫の歴史）
- 18 回 猫種の分類（ボティータイプ・カラー・特殊な形 等）
- 19 回 CFA 公認猫種の DVD①
- 20 回 CFA 公認猫種の DVD②
- 21 回 猫を自宅に迎える（オーナーの条件・準備）
- 21 回 迎えた時の注意点

2 2 回 猫の病気①（早期発見するには）
2 3 回 猫の病気②
2 4 回 猫の病気③
2 5 回 猫の病気④
2 6 回 猫の病気⑤（伝染病）
2 7 回 猫の病気⑥（遺伝病）
2 8 回 ワクチネーション①
2 9 回 ワクチネーション②
3 0 回 猫のシャンプー①
3 1 回 猫のシャンプー②
3 2 回 猫のシャンプー③
3 3 回 後期期末試験
3 4 回 後期期末試験返却（不理解部分の説明）
3 5 回 2 年になるにあたっての心構え等

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学

きょうざい
教材

CFA 公認猫種カラーコピー

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があればキャットショー見学

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

CFA（キャットファンシャーズアソシエーション U.S.A）公認 オールブリードジャッジ

アニマルアクティビティ

(授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適性飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

科	生命科学科	きょういん 教員	荻野 直美
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

後期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

授業計画

- 1 回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2 回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3 回 AAT を行うためには
- 4 回 動物がもたらす効果
- 5 回 AAT を行う側からの分類①
- 6 回 AAT を行う側からの分類②
- 7 回 AAT を受ける側からの分類
- 8 回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9 回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10 回 動物の適性評価①
- 11 回 動物の適性評価②
- 12 回 患者に合った動物を選ぶ
- 13 回 AAT の適応に必要な場合
- 14 回 活動中のストレス要因
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却
- 17 回 動物への不適当な扱い
- 18 回 捨てず・増やさず・飼うなら一生①
- 19 回 捨てず・増やさず・飼うなら一生②
- 20 回 グループワーク
- 21 回 活動に参加する動物のチェック
- 22 回 活動に際しての注意点

23 回	活動当日の注意点 デモンストレーション
24 回	ボランティアの責任
25 回	施設と設定
26 回	動物を飼う「食事編」
27 回	動物を飼う「環境編」
28 回	動物を飼う「体の手入れ編」
29 回	動物を飼う「運動編」
30 回	動物を飼う「予防編」
31 回	動物を飼う「トレーニング編」
32 回	後期ノートチェック、テスト範囲まとめ
33 回	後期期末試験
34 回	後期期末試験返却
35 回	動物を飼う「愛情・絆編」

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習、グループワーク

きょうざい 教材
ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

けいけん じゅぎょうか もく かんけい 経験と授業科目の関係
動物介在活動履歴 20 年

エキゾチックアニマル I

（授業概要）

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	伊勢 朱里
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

後期

ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

授 業 計 画

- 1 回 エキゾチックアニマルとは
- 2 回 ペットの適性について
- 3 回 ハムスターについて（分類、歴史）
- 4 回 ハムスターについて（体の特徴）
- 5 回 ハムスターについて（体の特徴
- 6 回 ハムスターについて（生理的な特徴）
- 7 回 ハムスターについて（飼育方法）
- 8 回 ハムスターについて（繁殖）
- 9 回 ハムスターについて（病気）
- 10 回 ハムスターについて（病気）
- 11 回 ウサギについて（分類・歴史）
- 12 回 自主学習日（課題）
- 13 回 自主学習日（課題）
- 14 回 自主学習日（課題）
- 15 回 ウサギについて（飼育方法）
- 16 回 前期期末試験(実施)
- 17 回 前期期末試験(返却・解説)
- 18 回 ウサギについて（繁殖）
- 19 回 ウサギについて（病気）
- 20 回 ウサギについて（病気）
- 21 回 モルモットについて（分類・歴史）

- 22 回 モルモットについて（体の特徴）
- 23 回 モルモットについて（体の特徴）
- 24 回 モルモットについて（生理的な特徴）
- 25 回 モルモットについて（飼育方法・繁殖）
- 26 回 モルモットについて（病気）
- 27 回 フェレットについて（分類・歴史）
- 28 回 フェレットについて（体の特徴）
- 29 回 自主学習日（課題）
- 30 回 自主学習日（課題）
- 31 回 フェレットについて（生理的な特徴）
- 32 回 フェレットについて（飼育方法）
- 33 回 後期期末試験(実施)
- 34 回 後期期末試験(返却・解説)
- 35 回 フェレットについて（病気）

授業の方法

講義

教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

実務経験と授業科目の関係

あり

ホームルーム

（授業概要） 学生との面談や行事についてアナウンスする。主に犬に関わる職業（トレーナー、トリマー、ペットショップ、動物保護等）を目指すにあたり、どんな人材が求められ、自分はどのような人間か、グループディスカッションを行い、理解を深める。

科	生命科学科	教員	稲岡 愛
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

専門学校や授業がある意味を理解し、何を意識して学校生活を送るべきかを理解し、行動する
自分や相手の事を知り、学校生活や就職先で必要なコミュニケーション能力を身に付ける

後期

就職についての意識を高めるためにペット業界研究を行い、自分は何の職業が向いているのか、何が本当にやりたいのかを見極め、動物業界や職業を知るとともに、自分の進路決定を行う

授業計画

- 1 回 面談・自分の事を知ろう
- 2 回 面談・自分の事を知ろう
- 3 回 面談・自分の事を知ろう
- 4 回 面談・自分の事を知ろう
- 5 回 研修旅行について
- 6 回 研修旅行について
- 7 回 研修旅行を終えて・レポート作成
- 8 回 面談・自分の事を知ろう
- 9 回 面談・自分の事を知ろう
- 10 回 スポーツ大会について
- 11 回 インターンシップ実習について
- 12 回 インターンシップ実習について
- 13 回 インターンシップ実習について
- 14 回 インターンシップ実習について
- 15 回 前期期末試験、成績評価についての確認
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験
- 18 回 KAPEXPO について
- 19 回 KAPEXPO について
- 20 回 KAPEXPO について
- 21 回 KAPEXPO 準備
- 22 回 なりたい職業について（グループディスカッション）

- | | |
|------|-------------------------------|
| 23 回 | なりたい職業について（グループディスカッション） |
| 24 回 | ゼミ制度について・ゼミ希望アンケート |
| 25 回 | 企業セミナーについて（注意事項・マナー） |
| 26 回 | 企業セミナーレポート作成 |
| 27 回 | なりたい職業について（グループディスカッション・発表準備） |
| 28 回 | なりたい職業について（発表会） |
| 29 回 | 面談・履歴書作成 |
| 30 回 | 面談・履歴書作成 |
| 31 回 | 面談・履歴書作成 |
| 32 回 | 面談・履歴書作成 |
| 33 回 | 後期期末試験 |
| 34 回 | 後期期末試験 |
| 35 回 | 1年のまとめとこれから |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

面談・グループディスカッション・演習

きょうざい 教材

プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論・実習Ⅰ

(授業概要)

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

科	生命科学科	きょういん 教員	白瀬 貴子
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×7 コマ

目標

前期

グルーミング道具の使い方、用途を理解し、1 頭仕上げる事が出来るようになる

ハサミの動かし方、犬の保定の仕方、犬の扱い方、消毒の仕方、掃除の仕方を理解し身に付ける

後期

犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを取得する

グルーミングマスターライセンスの取得に向けてスピードアップ、綺麗な仕上げを目指す

(チワワ：100 分 ダックスフンド・パピヨン：115 分仕上げ)

授業計画

- 1 回 道具配布・座学（グルーミングとは・ベイシック）
- 2 回 座学（ドライイング・実習について）
- 3 回 座学（ウィッグ梳き・リボン作成）
- 4 回 モデルグルーミング
- 5 回 初グルーミング実習（3 人で 1 頭）・実習の流れの理解
- 6 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）・バリカン開始・ハサミ練習
- 7 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 8 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）・足回りカット開始
- 9 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 10 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 11 回 前期期末試験期間 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 12 回 前期期末試験期間 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 13 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・一般犬での実習開始
- 14 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・中型犬開始
- 15 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・大型犬開始
- 16 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 17 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 18 回 グルーミング実習（1 人で 1 頭）
- 19 回 グルーミング実習（1 人で 1 頭）
- 20 回 グルーミング実習（1 人で 1 頭）

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 21 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 22 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 23 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 24 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 25 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 26 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭）ライセンス方式で行い時間を意識 |
| 27 回 | グルーミング実習・ライセンス試験（2 週に分けて実施） |
| 28 回 | グルーミング実習・ライセンス試験（2 週に分けて実施） |
| 29 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 30 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 31 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 32 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 33 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 34 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |
| 35 回 | グルーミング実習（1 人で 1 頭） |

じゅぎょう ほうほう
授 業 の 方 法

講義・実技実習

きょうざい
教 材

グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう
評 価 の 方 法

きまつしけん じゅぎょうたいど
期末試験80%、授 業 態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授 業 外 の 学 習 方 法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授 業 科目の関 係

あり

ペット業界研究

(授業概要)

将来働くことになる動物業界の主にペット系分野についての、職業や業界の概要を学び、より幅広い視野を持つとともに、進路選択において柔軟な考えを持たせる。

科	生命科学科	教員	伊勢 朱里
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

職業や卒業後の進路について実体験を聞いて現実的にとらえる

後期

業界の問題とその解決に向けて自分たちが将来何をすべきかを考え、進路選択をする

授業計画

- 1回 KAP学生としての心得
- 2回 就職活動とは
- 3回 ペット業界の職業①
- 4回 ペット業界の職業②
- 5回 ペット業界の職業③
- 6回 ペット業界の職業④
- 7回 ペット業界の職業⑤
- 8回 ペット業界の職業⑥
- 9回 ペット業界での就職への道のり①
- 10回 ペット業界での就職への道のり②
- 11回 インターンシップ実習について
- 12回 インターンシップ実習について
- 13回 インターンシップ実習について
- 14回 インターンシップ実習について
- 15回 ペット業界での問題
- 16回 前期期末試験(実施)
- 17回 前期期末試験(返却・解説)
- 18回 ペット業界での問題
- 19回 ペット業界での就職への道のり③
- 20回 ペット業界での就職への道のり④
- 21回 今後の進路・就職活動計画①
- 22回 今後の進路・就職活動計画②
- 23回 企業説明会準備

24 回 企業説明会準備
 25 回 企業説明会振り返り
 26 回 自己分析①
 27 回 自己分析②
 28 回 自己分析③
 29 回 1 年生の振り返り
 30 回 進路選択①
 31 回 進路選択②
 32 回 進路選択③
 33 回 進路相談
 34 回 後期期末試験(実施)
 35 回 後期期末試験(返却・解説)

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

講義・プリント作成・面談など

きょうざい
 教材

なし

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護基礎実習Ⅰ

(授業概要)

身近な動物を中心に、接し方から健康管理に関する基礎知識を学び、実践力を習得する。
衛生管理の大切さを理解し行動できる習慣を身につける。

科	生命科学科	きょういん 教 員	寺 鼻 友 美
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35×2 コマ

目 標

前期

基本的な保定を学び、動物に負担をかけず安全に接する方法を身につける。

基本保定をベースに、バイタルチェックをスムーズに行えるようになる。

後期

動物の状態の観察ポイントを理解し、動物に負担をかけずに接する事を身につける。

動物の代表的な病気とその予防法を理解し、説明できるようになる。

動物の SOS、またその症状を理解し対応方法を学ぶ。

授 業 計 画

- 1 回 自己紹介 授業について(衛生管理と実行 実習の注意点)
- 2 回 動物の接し方
- 3 回 犬：基本保定 ①
- 4 回 犬：基本保定 ②
- 5 回 犬：基本保定 ③
- 6 回 犬：基本保定 ④
- 7 回 犬：基本保定 ⑤
- 8 回 バイタルサイン ①
- 9 回 バイタルサイン ②
- 10 回 バイタルサイン ③
- 11 回 バイタルサイン ④
- 12 回 バイタルサイン ⑤
- 13 回 猫について ①
- 14 回 猫について ②
- 15 回 実技テスト
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却
- 18 回 フィジカルアセスメント①
- 19 回 フィジカルアセスメント②
- 20 回 全身チェック①
- 21 回 全身チェック②

22 回 全身チェック③
 23 回 全身チェック④
 24 回 全身チェック⑤
 25 回 全身チェック⑥
 26 回 全身チェック⑦
 27 回 グループワーク
 28 回 予防指導①
 29 回 予防指導②
 30 回 グループワーク
 31 回 試験範囲の説明
 32 回 実技試験
 33 回 後期期末試験
 34 回 後期期末試験返却
 35 回 グループワーク

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

座学、グループワーク、実習

きょうざい
 教材

プリント、動物、ぬいぐるみ

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり(動物看護師)

トレーニング概論・実習Ⅰ

（授業概要・目的）

犬を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師、ドッグトレーナー）をする上で必要な知識を身につけるために犬の生態、特質、犬種のもつ特性を理解し犬を正しく扱えるようになる。また家庭犬としてのしつけに必要な知識と技術を得る

科	生命科学科	教員	高山 美左
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35×3 コマ

目標

前期

犬の歴史と進化、家畜化について理解する。犬の生態、習性や行動を知る

後期

犬のボディランゲージやサインを理解し、犬とのコミュニケーション技術を得る

人と犬との生活のルールやマナーを構築していく為の知識をつける

授業計画

- 1 回 実習の諸注意、班分け、
- 2 回 犬の歴史
- 3 回 犬の進化
- 4 回 家畜化とは
- 5 回 の生得的本能
- 6 回 犬の素因
- 7 回 犬種の特徴
- 8 回 特質について
- 9 回 犬の素因と育つ環境の相互作用
- 10 回 犬の脳と行動の関係
- 11 回 子犬の成長過程 1
- 12 回 子犬の成長過程 2
- 13 回 犬の思春期がもたらす行動の変化
- 14 回 犬の群れの階級とは
- 15 回 犬のボディランゲージ/同種同士のコミュニケーション
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験
- 18 回 ボディランゲージ 1
- 19 回 ボディランゲージ 2
- 20 回 犬のストレス
- 21 回 犬の威嚇、攻撃行動
- 22 回 カーミングシグナル

- 23 回 カーミングシグナル
- 24 回 犬のパーソナルスペース
- 25 回 犬と人との暮らしについて/犬を飼うことのリスクとメリット
- 26 回 家庭犬の選び方/家庭犬のしつけとは
- 27 回 犬の去勢と避妊について/多頭飼育について
- 28 回 犬の飼い主の為のリーダーシップ教育とは/リードプログラム
- 29 回 リードプログラム
- 30 回 ハウストレーニングとトイレトレーニング
- 31 回 甘噛み・いたずら噛み
- 32 回 子供のいる家庭での犬との関係づくり
- 33 回 嫌悪刺激によるトレーニングの弊害と動物虐待、暴力の連鎖
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、実際に犬を使つての実技実習

きょうざい
教材・

テキスト、DVD 等

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通して、犬の管理や取扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

コンピューター実習

（授業概要）

本講義では、Microsoft Word を用いたビジネス文書の作成、Excel を用いた表計算とグラフ作成、PowerPoint を用いた基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行えるようになることを目的とする。

学科	生命科学科	教員 きょういん	大西 望
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験 きょういん じつむけいけん	○
対象年次 たいしょうねんじ	1 年	年間単位時間 ねんかんだんいじかん	35

目標もくひょう

前期

タッチタイピングが行える。

Microsoft Word を使用して、基本的なビジネス文書の作成が行える。

後期

Microsoft Excel を使用して、数式・関数を用いた計算と、グラフの作成が行える。

Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

授業計画じゅぎょうけいかく

- 1 回 授業概要
- 2 回 タイピング基礎
- 3 回 文字の入力と変換
- 4 回 Word 基本操作、画面構成
- 5 回 ページ設定、文章入力、文字の編集
- 6 回 フォントの設定、段落設定、箇条書き
- 7 回 課題（1）
- 8 回 グラフィック機能（1）；ワードアート、画像
- 9 回 グラフィック機能（2）；文字の効果、ページ罫線
- 10 回 グラフィック機能（3）；図形、SmartArt
- 11 回 表の作成と編集（1）
- 12 回 表の作成と編集（2）
- 13 回 表の作成と編集（3）
- 14 回 課題（2）
- 15 回 前期復習
- 16 回 Word 確認テスト
- 17 回 Word 確認テスト振り返り（前期最終）
- 18 回 後期授業概要、Excel 基本操作、画面構成（後期初回）
- 19 回 データの入力と編集、オートフィル
- 20 回 数式の入力
- 21 回 関数（1）；SUM, AVERAGE
- 22 回 関数（2）；COUNT, MAX, MIN

23 回 絶対参照と相対参照
 24 回 表の書式設定, 表示形式
 25 回 表の編集
 26 回 グラフ (1); 円グラフ
 27 回 グラフ (2); 棒グラフ
 28 回 Excel 復習
 29 回 Excel 確認テスト
 30 回 Excel 確認テスト振り返り
 31 回 PowerPoint 基本操作, 画面構成, 新規プレゼンテーションの作成
 32 回 テーマ設定, テキストの入力と編集, 箇条書き, フォントの設定
 33 回 図形, 画像, アニメーション
 34 回 個人課題 (1)
 35 回 個人課題 (2), 後期振り返り (後期最終)

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

コンピューター演習

きょうざい
 教材

よくわかる Word2021 & Excel2021, FOM 出版

ひょうか ほうほう
 評価の方法

授業中の取り組み態度 10%, 課題提出 40%, テスト 50%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

予習 1h, 復習 1h

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり

陸上実習

(授業概要)

- ・心身の健全な育成をはかる
- ・集団行動を身につけ、ルールを順守できるようになる。

科	生命科学科	きょういん 教 員	神垣 厚治
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年 生	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

- ・全体的なスポーツの基礎技術やルールを理解し、ゲームをきるようにする。
- ・ゲームを通してチームワークを理解する。

後期

- ・スポーツの基礎技術やルールを理解し、色々なスポーツに取り組んでもらう。
- ・ゲームを通して課題を理解し、自ら解決できる能力を身につける。

授 業 計 画

- 1 回 アイスブレイク、授業の目標、授業外での自習方法
- 2 回 バレーボール サーブ練習
- 3 回 バレーボール サーブ練習
- 4 回 各個人 バレーボール トス・スパイク練習
- 5 回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 6 回 バスケット・バトミントン自主練習
- 7 回 バスケット・バトミントン自主練習
- 8 回 各個人練習試合
- 9 回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 10 回 スポーツ大会用練習
- 11 回 スポーツ大会用練習
- 12 回 期末テスト内容説明（シャトルラン）
- 13 回 チーム対抗試合・シャトルラン練習
- 14 回 チーム対抗試合・シャトルラン練習
- 15 回 期末テスト練習（シャトルラン）
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験（予備）
- 18 回 授業の目標の再設定・競技紹介
- 19 回 ドッチボール競技練習・ルール説明
- 20 回 練習試合
- 21 回 練習試合
- 22 回 授業の目標の再設定・競技紹介

23 回 バトミントン練習
 24 回 サーブ練習・個人練習試合
 25 回 サーブ練習・個人練習試合
 26 回 2on2 対抗試合
 27 回 2on2 対抗試合
 28 回 授業の目標の再設定・競技紹介
 29 回 ソフトサッカー練習
 30 回 各チーム分け練習試合
 31 回 各チーム分け練習試合
 32 回 授業の目標の再設定・競技紹介
 33 回 後期期末試験 スポーツテスト説明・練習
 34 回 後期期末試験 スポーツテスト
 35 回 後期期末試験 スポーツテスト（予備）

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

実技、テスト

きょうざい
 教材

必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど
 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

気持ちの良い挨拶、傾聴の姿勢、丁寧な言葉づかいを意識して日々の生活を送る。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり

人間形成概論

(授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。

科	生命科学科	きょういん 教員	長岡 真美 / 森田 陵介
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	×
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

人間関係の基本となることを、グループワークや用語を知ることにより、実際の社会生活に活かせる術を身に付けていく。

後期

前期に続き、社会生活に活かせる術を身に付ける。

授業計画

- 1回 講師の自己紹介、生徒同士の自己紹介
- 2回 デスカッションのやり方 PREP法について
- 3回 パーソナリティについて
- 4回 対人認知 ステレオタイプ①
- 5回 対人認知 ステレオタイプ②
- 6回 人間関係とは①
- 7回 人間関係とは②
- 8回 インターネット依存症について
- 9回 感情について
- 10回 ストレスについて①
- 11回 ストレスについて②
- 12回 試験対策
- 13回 前期期末試験
- 14回 テスト返し 試験のフィードバック
- 15回 人間関係を理解する①
- 16回 人間関係を理解する②
- 17回 カウンセリング 悩み相談について①
- 18回 カウンセリング 悩み相談について②
- 19回 動機付け(モチベーション)①
- 20回 動機付け(モチベーション)②
- 21回 集団について①
- 22回 集団について②
- 23回 コーチング

- 24 回 リーダシップ
- 25 回 チームで仕事をするについて
- 26 回 人間関係を難しくする障害
- 27 回 試験対策
- 28 回 後期期末試験
- 29 回 後期期末試験
- 30 回 テスト返し 試験のフィードバック
- 31 回 前期のまとめ①
- 32 回 前期のまとめ②
- 33 回 後期のまとめ①
- 34 回 後期のまとめ②
- 35 回 社会にでることについて

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

きょうざい
教材

適切な教科書がないため、授業ごとにまとめたプリントを配布する。

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

身の回りの事象が、授業内容とどのように関係しているかを意識する。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

なし